

東区社協だより／東区福まちだより

ふれあいの窓

NO.

75

2013.5

社会福祉法人札幌市東区社会福祉協議会

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目 東区民センター内 TEL:741-6440 FAX:721-6444

「ふれあいの窓」は、共同募金に寄せられた善意のお金を一部活用して発行しています。



(写真) 東区内の子育てサロンの様子

目次

福まちかわら版	2～5
東区福祉のまち推進センター活動交換会を開催しました	6
平成25年度東区社協重点目標及び具体的な取り組み	7
赤い羽根共同募金運動へのお礼とご報告	8

福まち かわら版

東区にある10地区福祉のまち推進センターでは、高齢者、障がい者、子育て中の親子に対する様々な活動を実施しています。ここでは、各地区福祉のまち推進センターの役員の方々による活動紹介記事を掲載いたします。

鉄東地区

独居高齢者ふれあい昼食会

鉄東地区福祉のまち推進センター 事務局長 山内 泰嗣氏



員有志の皆さんによるハンドベル演奏など、見て・聴いて楽しんでいました。

また、保健福祉部・包括支援センター・介護予防センターの皆さんにもお手伝いを頂き、参加者の健康相談並びに食事に関するお話をして頂きました。最後にゲームを行い、成績上位5名の表彰を和気あいあいのもとに行い、楽しい一時を過ごしてもらいました。

鉄東地区福祉のまち推進センターでは、平成24年度も福祉協力員さんの協力を得て、春・秋年2回(2会場)の、70歳以上の独居の皆さんとのふれあい昼食会を開催しました。

春は弁当を、秋は協力員さんの心を込めた豚汁を参加者は堪能されていました。

昼食会では、フラダンスや地域の民生委員・児童委



北光地区

北光地区地域ボランティア研修会

北光地区福祉のまち推進センター 事務局長 掛端眞知子氏



青春時代に戻って歌いましょう

最初に、8か所のサロンがサロン代表者などから紹介され、次に「絞り染め風ハンカチづくり」に挑戦、3相談窓口による「楽しい脳トレ風レクリエーション」を体験、うたごえ便の石澤さんと懐かしい歌をみんなで大合唱、のどが渇いたところでお茶懇、最後に自作の絞り染めのハンカチを受け取って、閉会になりました。



絞り染め風のハンカチ作りに挑戦

平成25年2月26日、北光会館の集会室で、今年で3回目となる研修会を開催しました。サロン活動の紹介と模擬サロン体験という内容で、各分区・町内会の会長、役員、民生児童委員、サロン関係者、そして今回初めての新人ボランティアやボランティア希望者約80名の方に参加いただきました。

北栄地区

福まち学習会の開催

北栄地区福祉のまち推進センター 事務局長 位田美沙子氏



地域にお住まいの方に、健康で楽しく、いきいきと暮らしていただくとともに、福まち活動への理解を深めていただくことを目的に、「福まち学習会」を3回にわたって開催しました。1回目は健康で長生きするた

めの運動習慣・生活習慣を身につけることの大切さ、2回目は傾聴の意義と目的、3回目の第1部は健康的な咀嚼力、第2部は高コレステロール血症と高血圧の食事療法について、それぞれ講師の方の講演や実技により学習しました。この3回の学習会にすべて出席された方は、健康でいきいきとした生活を楽しめること間違いなしです(^_-)☆



栄西地区

福祉協力員研修会

栄西地区福祉のまち推進センター 事務局長 向山 俊男氏



代表の川本氏に「コミュニケーションの方法」について講演をしていただきました。当地区でも見守り活動の中で高齢者に対する声掛けをする機会も多いので、とても参考になりました。

1 来訪者に対する高齢者の心理状況として、「自分をさらけださなければならない」「内面を見られたくない」など

10月30日(火)

に栄42条会館(北42東4)にて栄西地区で活動中の福祉協力員と民生委員(参加者96名)を対象に、在宅介護センター「支心」

2 受け手の姿勢

3 聴く姿勢「視線を合わせる」「表情」「言葉の調子、速さ」
4 傾聴技術「面接を通して気をつけなければならないこと」として、「道徳的表現」など11のポイント

など 書ききれない程アドバイスをいただきました。実践者の心がまえとして一番大事なことは、「傾聴は、お互いに人の気持ちを受け入れていく過程です。自分の気持ちの中に、他の人の気持ちを受け入れる大きなスペースが必要です」。

以上、日常적인見守り活動について、改めて考えさせられる講演会でありました。



栄東地区

マップ情報の活用による福祉のまちづくり

栄東地区福祉のまち推進センター 事務局長 米田 憲昭氏



栄東地区福祉のまち推進センターでは、平成24年度の重点事業目標として、福祉マップに取り組むことになりました。

まず、年度当初に「福祉マップ事業開始チラシ」を全戸回覧。さらに、町内会用の研修資料として、栄東版「福祉マップ作成の手引書」を作成した他、10月の福まち広報誌に「マップ特集」を掲載してPRを行いました。

また、本年2月に開催した「福まちふれあい講演会」では、福祉協力員増員による体制強化を行ってマップ作成に取り組んだ「栄中央第1町内会」と、民生委員との連携による見守り活動を積極的に実施している「北

興町内会」の活動者から報告をいただきました。

この結果3月末現在のマップ作成状況は、39単位町内会中、35の町内会がマップを完成させるという成果(進捗率約90%、おそらく札幌市内でもトップクラスの実績)を挙げることができました。

今後は、福祉マップの情報を活用した見守り・訪問活動による安否確認活動を展開し、福祉のまちづくりを推進していきます。



元町地区

福祉アンケートについて

元町地区福祉のまち推進センター 事務局長 谷口 勲氏



元町地区福まちは、元町まちづくり協議会と共同で、元町地区としては初めての、全世帯を対象とした福祉アンケートを実施しました。総配布票数は8001票。無記名で、配布回収は町内会に依頼しました。回収されたアンケートは、2252票で、回収率は28.1%でした。当初は無記名で質問内容も浅い内容でしたので、10%も回収できればと思っていましたが、予想外の高い回収率で、皆さんの要援護者支援に対する関心の高さを痛感しました。このアンケート結果を報告書にして、各单位町内会に配

布いたしました。これを基に各单位町内会が、福祉活動に活発に動いてくれればと思っております。今後は新たな福祉活動に動いてくれた町内会に対し、積極的に支援して行こうと思っております。



伏古本町地区

第11回敬老ふれあいお食事会を開催

伏古本町地区福祉のまち推進センター 事務局長 佐々木和枝氏



敬老週間にあたり、9月16日(日)・17日(月祝日)の2日間、合わせて4会場で75歳以上の方を対象に「敬老ふれあいお食事会」が開催されました。出席者は合わせて512名と各会場がいっぱいになりました。102歳

の方もお元気に参加してくださり、お食事や演芸、健康相談も行われ、皆さん笑顔いっぱい楽しい時間を過ごされていました。

88歳(米寿)の方には花束を贈呈しました。欠席者には記念品が贈られ、「来年はぜひお元気で参加を」と呼びかけました。

このような催しを行うことで、普段はあまり顔を合わせることがないような皆さんが、この場を通じていろいろな方々と交流がもてることを願っております。



丘珠地区

子どもの世界は、みんな仲よし

丘珠地区福祉のまち推進センター 事務局長 宮前 典康氏

元気に集まり楽しく遊ぶお子さんの笑顔には、お手伝いするスタッフも笑顔になります。

顔見知りのお子さん同士で遊ぶ姿は、兄弟姉妹より仲良く見えます。

良くも悪くもスタッフの気持ちが影響すると、繊細な気持ちで接しております。

年間行事のなかで一番楽しく盛り上がるのは「クリスマス会」です。

最後の集合写真は、お母さんも子どもさんもいい顔で「ハイ、チーズ！」

福まちが地域で果たす大事な子育て支援は、いつも笑顔で終わります。



札苗地区

高齢者食事会にひろう

札苗地区福祉のまち推進センター 事務局長 大井 秀夫氏



札苗地区福祉のまち推進センターでは、毎年4地区に分かれ、食事会を年間4回行っていきます。その内容は地域の芸能を発表し、福まちセンターの職員と地域の協力員で「豚汁」を作り、市販のおにぎりと一緒に召し上がっていただいております。食事後は地域の芸能

の発表を鑑賞していただいております。フラダンス、民謡、大正琴などです。時には大正琴の演奏に合わせてハミングをしている方もいます。最後は、特に注意して欲しい時事問題を寸劇にして、介護予防センターの職員が演じてくれます。昨年の演題は「振り込め詐欺にご用心」でした。参加してくれた人たちの演技が終わるたびに、送った拍手と笑顔が極めて印象的でした。



苗穂東地区

平成24年度 災害時要援護者避難支援防災訓練

苗穂東地区福祉のまち推進センター 事務局長 吉 美智子氏



今年で2回目となる防災訓練が9月1日(土)に行われました。今回は一時避難場所である希望公園に、午前9時に地震発生の想定で自立避難者・要援護者・支援者計79名が集合。全員の安否確認後、車椅子等も使って、収容避難施設である苗穂小学校体育館に移動。体育館では、児童・保護者約700名も加わり、町内会ごとに受付をする合同訓練を行いました。段ボールの間

仕切りが体育館の端に組み立てられ、児童は順番に寝袋や毛布の上に横たわり避難生活を体験しました。実際の避難時には、お互いの助け合い・我慢・決まり事も沢山ある事を学びました。

一人ひとりが、日頃から防災の意識を高める事、地域における助け合い、見守り活動の大切さを、再認識する訓練でした。



福祉のまち推進センター所在地一覧

鉄東地区福祉のまち推進センター	北9条東5丁目 鉄東会館内	721-3105
北光地区福祉のまち推進センター	北18条東5丁目 北光会館内	721-1271
北栄地区福祉のまち推進センター	北25条東7丁目 北栄会館内	721-6336
栄西地区福祉のまち推進センター	北42条東4丁目 栄42条会館内	752-9536
栄東地区福祉のまち推進センター	北41条東14丁目 東老人福祉センター内	711-7144
元町地区福祉のまち推進センター	北20条東20丁目 元町会館内	787-2940
伏古本町地区福祉のまち推進センター (福祉プラザ葱ぼうず)	本町2条7丁目 苗穂本町地区センター内	781-8877
丘珠地区福祉のまち推進センター	丘珠町183-2 丘珠ふれあいセンター内	789-9202
札苗地区福祉のまち推進センター	東苗穂7条2丁目 モエレ交流センター内	789-6030
苗穂東地区福祉のまち推進センター (苗穂福祉ふれあいテン)	本町2条7丁目 苗穂本町地区センター内	781-3344

〈お問い合わせ〉 東区社会福祉協議会 北11条東7丁目 電話 (011) 741-6440

東区福祉のまち推進センター活動交換会を開催しました!

福祉のまち推進センター活動交換会は、例年、各地区福祉のまち推進センター（以下福まち）の情報交換及び研修を目的として開催しておりますが、平成24年度は、「見守り・訪問活動」を基本とした福まちの活動を広く市民の皆さんに知っていただくためにどのようなことができるかを参加者で話し合いました。（開催日：平成25年2月27日）

研修① 「福まちを広げよう～キャッチコピーを考える編～」

地区福まちでは、広報誌の発行やチラシの回覧など様々な機会に活動のPRを行っています。平成7年に活動が始まって以来、地域には広く認知されてきておりますが、「見守り・訪問活動」を更に推進していくためには、札幌市民一人ひとりに呼びかけていくことが必要となります。

今回の研修では、目を留めてもらえるキャッチコピーを考える練習として、参加者の皆さんに福祉川柳を考えていただきました!



▲福祉川柳品評会の様子

《参加者が選んだ優秀作品》

◎最優秀賞（2作品）

「福祉とは むずかしくない 思いやり」

苗穂東地区福まち運営委員長 村田豊美さん

「見守りを しているつもりが 見守られ」

苗穂東地区福まち運営委員長 村田豊美さん

◎優秀賞（3作品）

「助け合う 向こう三軒 両隣り」

北栄地区社協会長 大西徹さん

「助け合い みんなの力で 活きるまち」

丘珠地区福まち運営委員長 駒込昌弘さん

「手が触れて ホットしながら 気に掛ける」

北光地区福まちサロン活動部 新林芳子さん

研修② 「福まちを広げよう～住民や企業を巻き込むための取り組み編～」

地域内の企業や学校、商店街などを巻き込んで「見守り・訪問活動」を広げていくためにどのようなことができるかについて、地区ごとにテーブルに分かれて自由にアイデアを出していただきました!

話し合いでは、「企業や商店街、公共施設などにPRグッズを設置してもらう」「地元ラジオやミニコミ紙を活用する」など、これまでとは少し違った視点からの意見も多く出ており、活発な意見交換が行われました。



▲話し合った内容を地区ごとに発表

札幌市社会福祉協議会では、「見守り・訪問活動」を190万人の札幌市民に広げようキャンペーンを展開中です。「毎月3日は見守り・訪問活動の日」として、のぼりやポスター、カレンダーなどPR用グッズの作成を行っております。

（PR用グッズは東区社会福祉協議会のホームページで見ることができます）

URL <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/ward/higashi>



平成25年度 東区社協重点目標及び具体的な取り組み

① 区民がお互いに支えあう活動の推進

- ・「見守り・訪問活動」に対する重点的な支援
- ・災害時要援護者の把握にも役立つ「福祉マップづくり」の普及
- ・気軽に参加ができる「ふれあい・いきいきサロン」登録団体の拡充
- ・幅広い層の「ボランティア活動者」の発掘・養成、及び地区福祉のまち推進センターへの紹介

② 福祉的な支援を必要とする方々を支援する活動の推進

- ・住み慣れたまちで自立して暮らせるよう、「ボランティア活動に関する相談及び需給調整」「福祉除雪サービス事業」「移送サービス事業」「各種貸付事業」の実施
- ・判断能力に不安のある方を支援する「日常生活自立支援事業」の実施

③ 地域の社会資源との連携・協働によるネットワークの推進

- ・地域における各種団体、関係機関との協働
- ・町内会・地区社会福祉協議会・地区民生委員児童委員協議会と福祉関係機関等との連携支援

④ 地域福祉活動強化のための会員制度の普及・推進

- ・地域における福祉活動の重要な財源となる「賛助会費」の拡充

平成25年度予算

〔単位:円〕

		平成24年度予算 (A)	平成25年度予算 (B)	差異 (B) - (A)
収入の部	会費収入	4,800,000	4,700,000	△ 100,000
	寄付金収入	1,100,000	300,000	△ 800,000
	補助金収入	8,115,000	7,900,000	△ 215,000
	助成金収入	14,751,000	15,126,000	375,000
	事業収入	147,000	111,000	△ 36,000
	共同募金配分金収入	1,355,000	1,232,000	△ 123,000
	負担金収入	3,655,000	3,780,000	125,000
	雑収入	30,000	30,000	0
	受取利息配分金収入	500,000	496,000	△ 4,000
	サービス区分間繰入金収入	790,000	490,000	△ 300,000
	内部管理用事業間繰入金収入	420,000	160,000	△ 260,000
	基金取崩収入	28,000	0	△ 28,000
	前年度繰越金	20,794,000	20,723,000	△ 71,000
	合計	56,485,000	55,048,000	△ 1,437,000

		平成24年度予算 (A)	平成25年度予算 (B)	差異 (B) - (A)
支出の部	事務費支出	1,631,000	2,051,000	420,000
	事業費支出	32,779,000	32,511,000	△ 268,000
	基金 (愛情銀行繰越金含む)	22,075,000	20,486,000	△ 1,589,000
	合計	56,485,000	55,048,000	△ 1,437,000

ご寄付ありがとうございました

皆さまから寄せられましたご寄付は、東区内の地域福祉活動のために有効に活用させていただきます。

○3月25日 札幌市東区文化団体協議会 様
50,660円



札幌市東区文化団体協議会 様

赤い羽根共同募金運動へのお礼とご報告

昨年の10月1日から12月31日までの間に実施しました「赤い羽根共同募金運動」に対し、地域の皆さまや企業・団体の皆さまから温かいご寄付をいただきました。

町内会の皆さまには、戸別募金、法人募金等の募金活動にもご支援をいただきました。共同募金運動にご理解とご協力をいただきました多くの関係者に対し、心からお礼を申し上げますとともに、平成24年度東区の実績について下記のとおりご報告させていただきます。

募金額		前年比
戸別募金	10,800,175円	95.4%
法人募金	1,468,387円	91.6%
街頭募金	916,207円	104.2%
合計	13,184,769円	95.5%



平成24年度賛助会員加入実績及び配分のご報告

平成24年度に皆さまから寄せられた賛助会費の合計は、419万9000円となりました。ご協力いただいた区民の皆さま及び企業・団体の皆さまに厚くお礼申し上げます。

本会では、集まった賛助会費を地区ごとに加入実績に応じて配分し、地区における地域福祉活動に活用いただいております。

実績額が20万円以下の場合はその額の7割を地区に、20万円を超えた額はその9割を地区に還元しております。また、それらの残りの3割(ないし1割)は、区社会福祉協議会の移送サービス事業などの在宅福祉活動に活用させていただきます。

つきましては、別表のとおり各地区に配分いたしましたのでご報告いたします。

(単位:円)

地区	加入実績	配分金額	
		地区社協配分	区社協配分
鉄 東	354,000	279,000	75,000
北 光	398,000	319,000	79,000
北 栄	314,000	243,000	71,000
栄 西	559,000	464,000	95,000
栄 東	296,000	227,000	69,000
元 町	123,000	87,000	36,000
伏古本町	479,000	392,000	87,000
丘 珠	75,000	53,000	22,000
札 苗	333,000	260,000	73,000
苗 穂 東	1,221,000	1,059,000	162,000
事務局	47,000	-	47,000
合計	4,199,000	3,383,000	816,000